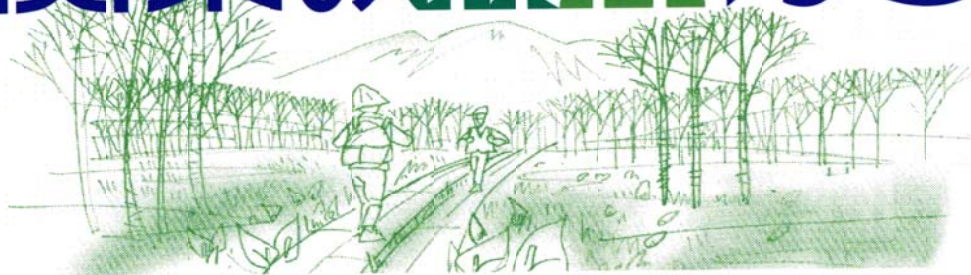


平成23年10月1日

第91号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



黄金色に輝く田んぼから望む巻機山（新潟県南魚沼市塩沢から）
（撮影者：中越森林管理署 枝澤 修）

森を歩こう

計画部 国有林野管理課

私と国有林

「地域の森林管理署と協働で、猛禽類や生物多様性を守る」

NPO法人才オタカ保護基金 代表 遠藤 孝一 氏



2012・国際森林年



草津・森の癒し歩道

森を歩こう

計画部 国有林野管理課

今年、国連が定めた「国際森林年」です。森林は、豊かな自然環境や生態系を育み、私たちの暮らしに多くの恩恵を与えてくれる大切なものです。「国際森林年」をきっかけに、皆さんも「森林を歩いて」、森林の大切さについて理解を深めたりしてみませんか。

関東森林管理局では、国有林野の豊かな自然環境を森林レクリエーションの場として、国民の皆様にご利用していただくため、「レクリエーションの森」を選定し、気軽に山を歩き森を散策していただける箇所を数多く用意しております。

今年、「森を歩く」を国内テーマにした「国際森林年」です。多くの方々に森を歩いていただけるよう、整備を進めているレクリエーションの森をいくつかご紹介します。

草津・白根スポーツ林

草津道路風景林

最初は、吾妻森林管理署管内に設定されている草津・白根スポーツ林及び草津道路風景林内の「草津・森の癒し歩道」です。この歩道は、群馬県吾妻郡草津町に位置し、ロイヤルコース、サイクリングロードコース、やすらぎの森コースから構成されています。

ロイヤルコースは、勾配が緩やかな延長1.3キロの周回コースで、林内は、カラマツ、ミズナラ等の混交林で歩道にはウッドチップが敷かれ、天皇后両陛下も散策されたコースです。

サイクリングロードコースは、勾配が緩やかな往復約3.8キロのコースで、アスファルト舗装がされており、車椅子での通行も可能なコース

となっています。やすらぎの森コースは勾配が急で、延長1.3キロの健脚向けコースとなっています。

笹ヶ峰自然休養林

続きましては、上越森林管理署管内に設定されている笹ヶ峰自然休養林です。この自然休養林は、新潟県妙高市に位置し、平成20年4月に「癒しの森」として池の平地域が「森林セラピー基地（生命地域・妙高薬湯膳の里）」に、笹ヶ峰高原など6カ所が「森林セラピーロード」として認定されました。

笹ヶ峰夢見平遊歩道の10キロのコースは、森林軌道跡地の一部を利用した高低差の少ない歩道で、美しい森林景観や歩きやすさなどから、多くの方々に利用されています。

今年、夢見平地区では、春先に「夢見平ミズバショウトレッキング」、夏には「2011国際森林年記念エコツアー妙高夏休み親子自然教室in笹ヶ峰」、9月には「妙高市笹ヶ峰地域における生物多様性保全活動」を守ろう！防ごう！笹ヶ峰」などのイベントが開催され、多くの方々に妙高の自然を満喫していただきました。

秋のイベントでは、10月16日に「秋の妙高高原エコトレッキング」が予定されていますので、是非ご参加ください。



笹ヶ峰自然休養林



草津・森の癒し歩道 (やすらぎの森コース)



碓氷峠風景林 (アーチ橋(めがね橋))

碓氷峠風景林

最後は、平成22年度に群馬森林管理署管内に新規指定された碓氷峠風景林です。

碓氷峠は、群馬県の安中市松井田町横川と長野県の軽井沢町の境にある標高約960mの峠で、国道18号線(旧道)が通っており、新緑や紅葉をドライブしながら楽しめることから、根強い人気があります。

また、旧国道18号線に隣接する旧信越線アーチ橋(通称めがね橋)は、国の重要文化財に指定された4連のアーチ橋で、全長91m、高さ31m、使用された煉瓦は約200万個に及び、現存する煉瓦造りの橋の中では国内最大規模で、時代がかった赤煉瓦の色が周囲の緑と調和し、美しい景観を創り出しており、年間を通じて多くの方々が観光に訪れています。

こうしたことから、めがね橋周辺と旧国道18号線沿線の自然景観の維持・向上を図ることとして、当該地域一帯の国有林を風景林に指定したところ です。

入山に当たってのルール

山歩きには幾つかの注意点やルールがあります。
皆さんも次のルールを守って快適な山歩きを楽しんではいかがでしょうか。

- 1 計画や準備は万全にする。
登山経験者に相談したり、目的地やルート情報を必ず確認し、無理な行動はさけましょう。
- 2 ゴミは必ず持ち帰る。
ゴミのポイ捨ては自然環境や景観、野生生物に悪影響を与えます。ゴミは捨てずに全て自宅まで持ち帰りましょう。
- 3 登山道を外れて歩かない。
道に迷ったり植生を痛めることになりす。また転落する恐れもあります。
- 4 動植物は大切にす。
多様な野生生物は自然を形成する重要な構成員です。
- 5 火の始末はきちんとす。
タバコの投げ捨てなど山火事の原因となることはやめましょう。
- 6 トイレなどの公共施設をきれいに使う。
- 7 ペットにはリードをつける。
- 8 マウンテンバイクなどの車両を乗り入れない。
- 9 生き物にえさをやらない。
えさを与えると野生動物に悪影響を及ぼす恐れがあります。



「安心・快適な高尾山」を目指した

森林利用協働モデル事業について

計画部 指導普及課



関東森林管理局では、平成22年度から3ヶ年の計画で、多くの登山者が安心して高尾山を利用できるように、「安心・快適な高尾山」を目指して森林利用協働モデル事業を実施しています。

森林利用協働モデル事業

高尾山は、すばらしい自然環境から、国定公園、自然休養林に指定されており、都心に近いこともあり、年間を通じて、子供から高齢者まで幅広い層の登山者などに親しまれています。



修繕をした「いろはの森」歩道

また、平成19年から連続してミシランガイドの最高ランク、三つ星の観光地に選出されたこともあって、利用者数が急増し、環境省が公表している「明治の森高尾山国定公園」の年間利用者数によると、平成18年

度は250万人であったものが、平成21年度には404万人に増加しています。

このため、多くの利用者が安心して高尾山を利用できるように、歩道の整備、事故防止、情報提供などを図ること、また、これらを進めるための今後の組織のあり方などを、地元自治体やボランティア団体等と連携し、森林利用協働モデル事業として取り組むこととしました。

モデル事業の取組

平成22年度の取組として、高尾山の利用状況やニーズを把握するためアンケート調査などを行ったところ、初めての利用者や若年層の利用者が増加していること、事前の情報を保持せずに訪れる利用者が多いこと、薬王院から山頂までの区間に利用者が集中していること、薬王院や山頂に比べて周辺施設は知られておらず、利用者が限られていることなどが分かりました。

このようなことから、PRパンフレットを作成し、施設の情報、高尾山の歴史や利用ルールを掲載して情報提供に努めました。なお、パンフ

レットは、海外から訪れる利用者へ配慮し、日本語版のほか4カ国版を作成しました。

また、利用者の分散を図り周辺施設の利用を促すため、整備が急がれていた対象施設の中から、「日影沢キャンプ場」の施設につ



看板の設置



日影沢キャンプ場施設

いては、老朽化による水質への影響がある水道や上屋が腐食し危険性がある水場等の修繕を行うとともに、「いろはの森コース」歩道については、歩道からはみ出して歩くため歩道が広がってしまった箇所や木の根が地面から露出している箇所の修繕を行ったほか、案内板の設置などを行い、利便性の向上を図りました。

今後も、森林環境教育の充実や利用者のニーズに合わせた施設の有効活用など、より快適で安全な高尾山となるよう協働モデル事業に取り組んでまいります。

今年、国際森林年であることから、PRパンフレットの足を歩いて観てくださ

森を守った歴史がある。

高尾山の森は746年に聖武天皇の勅令を受けた僧・行基によって開山されて以来、代々守られてきた。明治時代初期に高尾山が実業家北条武治によって「いろはの森」に改称された。1947年に国定公園に指定された。現在でもその森林は自然休養林や国定公園に指定され、大切に管理・保全されている。

歴史と文化を紡ぐ人がいる。

高尾山は自然の豊かな山であるとともに、信仰の山でもある。その歴史が薬王院である。高尾山信仰は江戸時代初期よりその大名から民衆の間に広がり、関東各處から多くの参詣人が高尾山に参るようになった。江戸を出発して八王子詣に始まり、翌日に高尾山に参る高尾詣は江戸時代を通じて手前が好評であった。高尾詣の人気が高まり、同時に所用道具として土器や布製の道具も土器工芸品が製造された。明治期に高尾詣の盛況によって高尾山は新しい観光地として賑わい、薬王院や歴史文化とともに、歴史や文化を紡ぎながら今も人々を魅き込んでいる。

高尾山の利用ルール

大切な自然環境を大切にしよう。

- 1 計画や準備を万全にする
高尾山は山登りや登山が主目的です。登山者としての準備を万全にする。登山者としての準備を万全にする。登山者としての準備を万全にする。
- 2 ゴミは必ず持ち帰る
高尾山は746年の歴史ある山です。ゴミは持ち帰る。自然環境を大切にしよう。ゴミは持ち帰る。自然環境を大切にしよう。
- 3 登山道を外れて歩かない
登山道は安全な道です。登山道を外れて歩かない。登山道を外れて歩かない。登山道を外れて歩かない。
- 4 動植物は大切に
高尾山には多くの動植物が生息しています。動植物を大切にしよう。動植物を大切にしよう。動植物を大切にしよう。
- 5 火の始末をきちんとする
山火の危険があります。火の始末をきちんとする。山火の危険があります。火の始末をきちんとする。
- 6 トイレなどの公共施設をきれいに使う
高尾山には多くの公共施設があります。公共施設をきれいに使う。高尾山には多くの公共施設があります。公共施設をきれいに使う。
- 7 ペットはリードをつける
ペットはリードをつける。リードをつける。リードをつける。リードをつける。
- 8 マウンテンバイク等車両を乗り入れない
高尾山には多くの車両が走っています。車両を乗り入れない。高尾山には多くの車両が走っています。車両を乗り入れない。
- 9 生き物にエサをやる
生き物にエサをやる。生き物にエサをやる。生き物にエサをやる。

Our mountain, Takao 高尾山

新宿から西へ約40km、標高599m、西暦744年(天智4年)開山。

様々な貌の森がある。

高尾山は標高599mの小さな山にもかかわらず、高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。

森に暮らす生き物がある。

変化に富む高尾山の森は、それだけの種類は200種類以上の動植物が生息し、多くの動物が生息しています。ムササビやリス、ツルギなどの哺乳類、シロフクロウやオオルリ、ムササビやリスなどの鳥類、モリアオビやヒメタテハやシロフクロウなどの昆虫、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類。

高尾山は標高599mの小さな山にもかかわらず、高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。

様々な貌の森がある。

高尾山は標高599mの小さな山にもかかわらず、高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。高尾山は山登りや登山が主目的です。

森に暮らす生き物がある。

変化に富む高尾山の森は、それだけの種類は200種類以上の動植物が生息し、多くの動物が生息しています。ムササビやリス、ツルギなどの哺乳類、シロフクロウやオオルリ、ムササビやリスなどの鳥類、モリアオビやヒメタテハやシロフクロウなどの昆虫、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類、アオビやオオルリやシロフクロウなどの魚類。

高尾山PRパンフレット



赤谷の森から

赤谷プロジェクトの軌跡

第3回 (主な取組)

今回は自然林回復に関する取組についてご紹介しました。今回は引き続き赤谷プロジェクトの主な取組についてご紹介します。

溪流環境の復元(治山ダム中央部撤去)

溪流環境の復元と防災機能との調和を目的として、平成21年秋に治山ダムの中央部を試験的に撤去しました。その一方で、防災上のリスクを軽減するため、撤去したダムの下流

溪流環境の復元

治山ダム撤去



保全工



200以上の箇所に防災用施設を設置しました。

寸断されていた溪流の連続性を確保し、氾濫や土砂移動等の上に成立する複雑な生態系を復元することが狙いです。ただ、氾濫や土砂移動等は災害に直結し、私たちの生活に密接する難しい問題です。

今後のモニタリングにより得られる溪流独特の生態や土砂流出の状況などの結果を活用して、防災と溪流環境復元の両立のモデルケースとなることを目指します。

猛禽類のモニタリング

生態系の頂点に立つイヌワシ・クマタカの2種類の大型猛禽類について調査をすることで、その傘下にある生態系全体を評価する試みです。



育雛中



クマタカ

猛禽類のモニタリング



赤谷プロジェクトでは地域のボランティアとともにASTR(赤谷スペシャルチームフォロワー)を組織し、センター職員、自然保護協会も参加し調査を続けています。

赤谷エリアにはイヌワシ1ペア、クマタカ5ペアの営巣が確認されており、どちらも繁殖成功率は50%と全国平均の倍近い成功率であることが分かっています。

今後はさらに、繁殖、餌場環境等を調査し、生態系に配慮した森林施策等を検討していきたいと思えます。

赤谷の日・サポーター

赤谷プロジェクトの理念に共感し、ともに活動するプロジェクト・サポーター(ボランティア)を募っています。毎月第1土・日曜日を「赤谷の日」と名づけ、様々な調査活動や地域の歴史を学ぶ共同作業を行います。定期的に参加する方の多くは関東圏を中心に遠方から来られ、とても熱心に各種調査等に取り組んでいただいています。

赤谷の日の魅力についてサポーターに伺ったところ、一般の自然観察会や趣味での自然調査と異なり、赤谷ではその成果は取りまとめられ、国有林の管理経営に活かされるという点、また、地域住民と接点を持つといった点などが挙げられました。各種調査のマンパワーとして、地域との接点として、また都市型住民

赤谷の日・サポーター

- ・サポーターと呼ばれるボランティアとの共同作業
- ・各種調査・地域と森の歴史を学ぶ



炭焼き



種子の豊凶調査



トン冀の採集

環境教育・視察

の森林へのニーズ把握の窓として、重要な役割を担っています。

現地視察を通して、赤谷での取組や考え方の普及啓発を行うと共に、次世代を担う子供たちへ環境教育を実施しています。昨年度は、赤谷センターが主催・協力したもので、延べ800名程の方々をご案内することができました。

今回は主な取組を紹介させて頂きましたが、このほかにも大小様々な主体が協力し、多くの調査・活動等を行っています。

次回最終稿は赤谷の森の管理経営計画と今後の課題についてご紹介いたします。

私と国有林

「地域の森林管理署と協働で 猛禽類や生物多様性を守る」

NPO法人 才オタカ保護基金 代表 遠藤 孝一



私が住み、そして私達の会が主に活動する地域は栃木県です。栃木県内の森林面積は、35万鈔（県土の55鈔）。そのうち国有林が占める割合は35鈔を超えます。したがって、栃木県の森林生態系や生物多様性を保全する上で、国有林は大きな影響力を持ちます。

私達の会は、食物連鎖の頂点に位置する猛禽類をシンボルとして、生物多様性を守る活動を行っています。猛禽類が生息するためには、餌となる鳥類や哺乳類が多数生息し、またそれらの餌となる昆虫や植物も多数生息・生育する良好な自然環境が必要です。したがって、猛禽類を守る



里山生態系のシンボルのオオタカ

ことは、希少な鳥類を守ることにのみならず、生態系の保全にもつながります。特に、猛禽類にとって森林は重要な生息の場所で、その保全は重要です。

そこで、私たちは栃木県内で国有林を管理する塩那森林管理署及び日光森林管理署と連携しながら、猛禽類や森林生態系の保全活動を行っています。今回は、その中から、塩那森林管理署との取り組みについて紹介します。

那須野ヶ原の一角に、アカマツからなる約80鈔の国有林があります。ここにはオオタカひとつがいが生息し、毎年繁殖を行っています。しかし、近年、マツクイムシの被害により、50年後にはアカマツが消滅してしまうのではないかとされるほど深刻な状況になっています。そこで管理署では、薬剤散布（オオタカの営巣木周辺は除く）、枯死木の伐採・搬出、オオタカの営巣木及び営巣適木周辺でのマツ枯れ防止剤の樹幹注入を行っています。さらに数年前から、本会と協働で

次の世代のアカマツを育てることを目的に、アカマツ苗木の植樹や天然下種更新（自然に落ちた種が発芽し、樹木に育つ）を始めました。毎年1、二カ所で、天然更新の下地づくりの地掻きや樹木の生長を促すための枝払いなど、地元自治会や企業、一般ボランティアの力を借りて行っています。現在、初期の頃に植えた木は、背丈を超えるほどに育っています。これらの活動を通じて、那須野ヶ原の原風景である美しいアカマツ林と貴重なオオタカの営巣地が維持されていくことを期待しています。

次に、管内全域に渡る取り組みについて紹介します。それは、管理署と本会との間で年に1回開催される森林施業に関する調整会議です。森林施業と猛禽類の保全は相反するも



アカマツ林の落葉掻きをするボランティアの皆さん

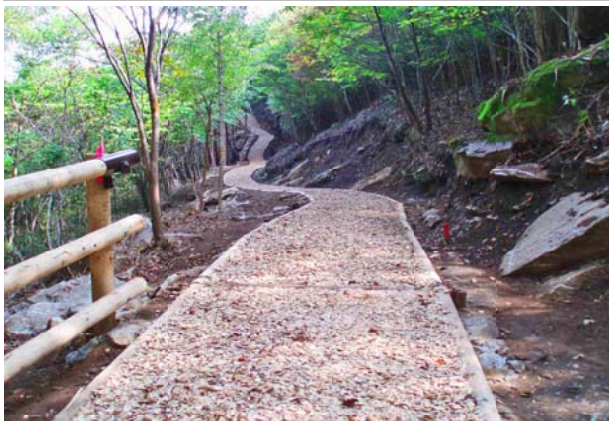


森林施業等との調整会議

のではなく、両者は十分共存が可能です。適度な皆伐や間伐は、猛禽類に狩り場や営巣地を提供するからです。注意しなければならぬのは、利用中の営巣地をきちんと保全することと、営巣地近隣での伐採は繁殖期など重要な時期を避けることです。それには、猛禽類の営巣地や繁殖状況、伐採や治山事業等の計画について、十分話し合うことです。双方の情報に基づき、調整が必要な地域について意見交換を行い、影響を最小限に抑える方策を両者で検討し、森林施業等の事業に取り組んでいます。このような事前調整の取り組みは、猛禽類の保全に極めて有効です。今後は、これをモデルに各森林管理署に広がって行くことを期待します。

森づくりの最前線

福島森林管理署白河支署 蓬田森林事務所 森林官 高橋 清志



蓬田岳登山道の探検コース

私が勤務する蓬田森林事務所は、福島県南東部に位置する平田村と玉川村、須賀川市にかかる阿武隈山系約2,700㍍の国有林を管理しており、アカマツを主体とした人工林が多く、標高約500㍍の高地にあります。

管内には風光明媚な場所が多く、代表的な所を紹介しますと、東北百名山のひとつ「蓬田岳（標高952㍍）」は平田村のシンボルとされ、登山道入口から山頂までは約1時間で登ることができます。山頂からは東に太平洋、西に那須連峰を望むことができることから、村民はもちろん多くの登山者に愛されています。

また、登山道のひとつ「探検コース」は、国有林の「レクリエーションの森整備事業」により、2年前から丸太を利用した階段の作設やウッドチップ敷きなどにより初心者でも安全に利用できるよう整備を進めています。今年度中には、頂上まで完成する予定となっており、完成後は、より多くの方に利用して頂けるものと期待しています。

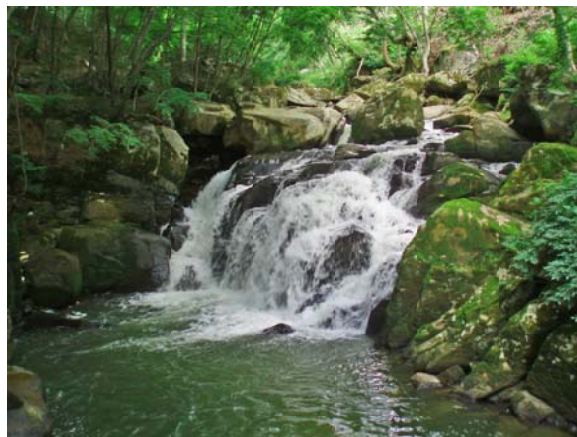
蓬田岳の麓には自然公園「ジュピアランドひらた」があり、その施設の代表的な風景と言え、春に咲き誇る11万株の芝桜です。毎年4月下旬から5月末にかけて「ジュピアランド芝桜まつり」



ジュピアランドひらたの芝桜

が開催され、期間中に7万人近い観光客が訪れています。一面がピンク、紅、白の絨毯となり、訪れた観光客からは感嘆の声が聞かれます。

それから、母畑温泉の上流には「山鶏滝」があり、落差約10㍍で、険しい岩肌の上を流れ落ちる厳かな自然美は一見の価値があります。滝は二段となっており上段が男滝、下段が女滝と名付けられ、それぞれの趣を比べてみるのも一興です。滝を望む橋も今年新しく付け替えられました。秋には紅葉も美しく、森林浴には最適な遊歩道となっています。



厳かな自然美「山鶏滝」

最近の明るい話題としては、国有林を横断するような形で福島空港と東北道・磐越道を結ぶ「あぶくま高原道路」が4月に全線開通しました。関東、いわき方面からのアクセスが良くなったことから、今後は観光客も増え、管内のこのような観光地も賑わって行くものと期待しています。

当森林官になり3年目となりました。管内は、「民家のすぐ裏山が国有林」というほど近接しているため、国有林と地域の皆様とは密接な関係にあります。このようなことから、地元の人達の声を聞きながら互いに支え合える関係を今後も続けていけるよう、森林官業務に奮闘していきたく思います。



民家に隣接する国有林

まきはたやま 管内の百名山「巻機山」



山頂周辺に広がるササ草原

新潟県南魚沼市の東側、坂戸山、金城山から続く尾根の向こうに大きくそびえる秀峰が巻機山（標高1,967㍍）です。古くから機織りの神様として信仰されていたことが山名の由来です。

登山ルートは、南側山麓の南魚沼市清水集落から井戸尾根を往復する井戸尾根コース（歩程約8時間）が一般的です。桜坂駐車場を出発して6合目付近まではブナなどの広葉樹林が続き、8合目を過ぎて二セ巻機山（標高1,861㍍）と呼ばれるピークにたどり着くと、巻機山の山頂周辺に広がる広大なチシマザサの草原とオオシラビソの樹林帯が一望できます。そこから1時間弱で巻機山の頂に着きます。チシマザサ草原の中の登山道脇には、雪田や池塘（高山の湿原や泥炭地にある池沼）が散在し、イワイチョウ、ハクサンコザクラ、ニッコウキスゲなどの植物が疲れを癒してくれます。



バイオトイレ(利用後は前に20回、後ろに10回)

二セ巻機山から山頂側に15分程下ったところには、平成16年に全面改築された「巻機山避難小屋」があります。この避難小屋には電気を全く使わない攪拌式バイオトイレが設置されています。なんと動力源は登山者自身です。このトイレを始め小屋の維持管理をボランティアで長年続けているのが、巻機山をこよなく愛する地元のグループ「巻友会」です。

巻友会の会員は、現在24名、登山者の多い6月から9月の間は、毎週2人ずつ交代で避難小屋まで登り、バイオトイレの点検や清掃、小屋とその周辺の環境整備等を行っています。避難小屋がいつも綺麗で気持ちよく使えるのは、このような地元の方々の地道な取組のおかげです。感謝、感謝です！！

巻機山は、中越森林管理署管内にある2箇所の森林生態系保護地域を結び形で設定されている「緑の回廊三国線」（延長約56キロ㍍）に含まれており、当署では、一帯の貴重な自然環境を後世に残すため、これからも森林の維持・保全に努めていきたいと考えています。

(中越森林管理署長 枝澤 修)



避難小屋と巻友会の皆さん

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL (027) 210-1158
FAX (027) 210-1159

<http://www.pref.niigata.gov/kanto/nukusina/news/index.html>

参加費 100円(保険料を当日徴収)
お申し込み・お問い合わせ先
福島森林管理署 担当：野口
〒960-8055 福島市野田町7-10-4
電話番号 (024) 535-0121

集合場所 幕川温泉駐車場
募集人員 30名(先着順)
申込方法 平成23年10月3日(月)から電話による受付(土・日、祝日を除く)9時00分～17時00分を開始します。

申込締切 平成23年10月12日(水)ただし、定員になりしだい受付を終了します。

実施日 平成23年10月15日(土)
開催場所 福島市土湯温泉町鷲倉山国有林(幕滝遊歩道)

紅葉の美しい季節を迎えた幕滝周辺の森林を歩きながら、そこに生息する動植物を観察し、自然の仕組みや不思議さ、森林の大切さを感じてみませんか。

国際森林年企画
幕滝周辺自然観察会

参加者募集